

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)湘南台1丁目プロジェクト	階数	地上10F
建設地	藤沢市湘南台一丁目10番10	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	100人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年5月 予定	評価の実施日	2015年7月13日
敷地面積	496 m ²	作成者	生和コーポレーション(株)
建築面積	263 m ²	確認日	
延床面積	2,098 m ²	確認者	



ささい

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30% 60% 80% 100% 100%超

建設 修繕・更新・解体 運用 オンサイト オフサイト

参照値 100%

建築物の取組み 92%

上記+ 以外の 92%

上記+ 92%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 2

LR1 エネルギー: 1

LR2 資源・マテリアル: 2

LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
必要部位に断熱材を設け、建物の熱負荷抑制に配慮した。 緑地形成による、まちなみの景観への配慮を図った。	0	
Q1 室内環境 壁、屋根に断熱材を設け、外皮の熱負荷軽減に配慮した。 建材は全てF を採用。	Q2 サービス性能 階高にゆとりを設け、空間の快適性に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地外周部及び屋上に緑地を配し、まちなみの景観への配慮を図った。
LR1 エネルギー 断熱性の高い材料の採用、屋根(天井)に断熱材を設け、建物の熱負荷抑制に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 節水型機器、再利用が可能な部材の採用により、資源消費の低減に配慮した。	LR3 敷地外環境 敷地内に緑地を設け、敷地外への熱的な影響の低減を図った。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される